

蓼沼明美と仲間たち

Akemi Tadenuma with Friends 室内楽シリーズVol.4



蓼沼 明美 | ピアノ |
Akemi Tadenuma, Piano



沼田 園子 | ヴァイオリン |
Sonoko Numata, Violin



大野 かおる | ヴィオラ |
Kaoru Ohno, Viola



藤村 俊介 | チェロ |
Shunsuke Fujimura, Violoncello

L.v.ベートーヴェン：チェロ・ソナタ第4番 ハ長調 作品102-1
L.v.Beethoven: Sonata for Violoncello and Piano No.4 in C major, Op.102-1
J.ブラームス：ヴィオラ・ソナタ第1番 ヘ短調 作品120-1
J.Brahms: Sonata for Viola and Piano No.1 in F minor, OP.120-1
R.シューマン：ヴァイオリンとピアノのための3つのロマンス 作品94
R.Schumann: Three Romances for Violin and Piano, Op.94
R.シューマン：ピアノ四重奏曲 変ホ長調 作品47
R.Schumann: Piano Quartet in E flat major, Op.47

2024年7月7日(日) 14:00開演(13:30開場)
2:00pm Sun. 7th July 2024

楽 HAKUJU HALL (ハクジュホール)

代々木公園駅(千代田線)出口1より徒歩5分
代々木八幡駅(小田急線)南口より徒歩5分

全自由席(消費税込み): 一般¥4,000 学生¥2,000

※やむを得ない事情で曲目等が変更になる場合がありますので、ご承知おきください。※未就学児は入場できません。

コンサート・マネージメント: 株式会社コンセル・プルミエ 042-662-6203 c.premier@s2.dion.ne.jp

入場券取扱い: CNプレイガイド <http://www.cnplayguide.com/>



2021年にスタートした室内楽シリーズ「蓼沼明美と仲間たち」は、毎年回を重ねることができまして、今年4回目の演奏会を開催いたします。皆様の暖かいご支援に改めて深く感謝申し上げます。

今回は第2回にもご出演いただいたヴァイオリンの沼田園子さん、ヴィオラの太野かおるさん、チェロの藤村俊介さんを再びお招きし、各弦楽器とピアノによる二重奏曲と、四人で演奏するシューマンのピアノ四重奏曲をお届けいたします。同じ弦楽器とはいえ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロは音域の幅が違い、それぞれが個性的な楽器です。名手たちが奏でる美しい音色や魅力を味わいながら、ピアノとの珠玉の作品をお楽しみください。ピアノ四重奏は、ピアニストにとって、最も弦楽器との親密な対話が求められる編成かと思えます。その代表的な作品であり、ロマンチックな香りと明るい活力に満ちたシューマンのピアノ四重奏曲に、室内楽の醍醐味を感じていただけましたら幸いです。

皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

蓼沼明美



©Ayane Shindo

蓼沼 明美 | ピアノ | Akemi Tadenuma, Piano

東京藝術大学附属音楽高校を経て、同大学音楽学部を首席で卒業。同大学院修士課程修了。田村宏、林美奈子の各氏に師事。大学院在学中ロンドンに留学し、マリア・クルチョ女史のもとで研鑽を積む。マリア・カナルス国際コンクールの「ヴァイオリンとピアノの二重奏」部門で第2位入賞。日本音楽コンクールのチェロ部門における共演に対して審査委員会特別賞受賞。1986年より5年間東京藝術大学弦楽科伴奏助手を務め、アンサンブル・ピアニストとして内外の多くの演奏家と共演し高い信頼を得ている。2004年には姉、蓼沼恵美子とのピアノ・デュオ・リサイタルを開催し、CD「姉妹デュオによる珠玉の連弾」をリリース。また、1986年にヴァイオリニストの沼田園子と「ファイン・デュオ」を結成し、東京をはじめ全国各地で展開するデュオ・リサイタルは毎回高く評価されており、2012年から2014年にかけて「ベートーヴェンのヴァイオリンとピアノのためのソナタ全曲CD録音記念演奏会シリーズ」(全5回)を開催。2016年にはデュオ結成30周年を迎え、記念公演を各地で開催し成功を取めた。

『ファイン・デュオ』としてのCD「日本の響きVol.1《悲歌》、Vol.2《哀愁の日本》、Vol.3《妖精の距離》、Vol.4《日本人女性作曲家の作品の系譜》(全4枚)」をカメラータ・トウキョウより、「ベートーヴェン・ヴァイオリン・ソナタ全曲」(全4枚)をアート・ユニオンよりリリースしている。

現在、東京学芸大学非常勤講師として後進の指導も行っている。



©Ayane Shindo

沼田 園子 | ヴァイオリン | Sonoko Numata, Violin

東京藝術大学弦楽科を首席で卒業。同大学院博士課程単位習得。バガニー二生誕200年祭国際コンクール第3位、マリア・カナルス国際コンクール「ヴァイオリンとピアノの二重奏部門」第2位、アルベルト・クルチ国際コンクール第5位にそれぞれ入賞。日本音楽コンクール作曲部門における演奏に対してコンクール審査委員会特別賞、アール・レスピランのメンバーとして「中島健蔵賞」受賞、静岡県文化奨励賞を受賞。

1990年より25年にわたり水戸室内管弦楽団の常任メンバーとして活躍。ソリストとして国内外のオーケストラと共演するほか、コンサート・ミストレスとしても客演。国内外の音楽祭にそれぞれ演奏家、講師として招待される。ヨーロッパ各地での演奏会においても大変好評を得る。各ホール主催企画のコンサート出演や、ピアノの蓼沼明美との「ファイン・デュオ」としてのリサイタルを全国各地にて開催。さらに内外の一流演奏家とも共演するなど、室内楽においても常に高い信頼を得ている。2015年弦楽四重奏団「カルテット・プラチナム」を結成。

CD「日本の響き」Vol.1《悲歌》、2.《哀愁の日本》、3.《妖精の距離》、4.《日本人女性作曲家の作品の系譜》(全4枚)をカメラータ・トウキョウより、「ベートーヴェン・ヴァイオリン・ソナタ全曲」(全4枚)をアート・ユニオンよりリリースし各雑誌にて絶賛される。

現在、洗足学園音楽大学客員教授、東京藝術大学講師を務める。



©Ayane Shindo

太野 かおる | ヴィオラ | Kaoru Ohno, Viola

日本を代表するヴィオラ奏者の一人。5歳よりヴァイオリンを始め15歳でヴィオラに転向する。東京藝術大学附属音楽高校、同大学を経て同大学院修了。在学中より活発な演奏活動を開始。学内のモーニング・コンサートでは芸大フィルハーモニアとダヴィッドのヴィオラ協奏曲を日本初演。ターティス国際ヴィオラ・コンクール(イギリス)では2つの特別賞を、東京国際音楽コンクール「室内楽」では第1位入賞、併せて2つの特別賞も受賞する。2004年と2010年の日本音楽コンクールでは本選会の共演に対し審査員特別賞が贈られる。ソロと室内楽を中心に国内外で幅広く活躍。アンサンブル・トウキョウでは1986年の創立以来ソロ・ヴィオラ奏者としての重責を担う。これまでにイヴリー・ギトリス、海野義雄、ブルーノ・パスキエ、ユーリ・バシメット、オーレル・ニコレ、ウォルフガング・シュルツ、エマニュエル・パユ、アルブレヒト・マイヤー、パーヴェル・ギリロフ、ヨゼフ・ハラー等々著名なアーティストとの共演は数え切れず、常に高い信頼を得ている。近年では弦楽四重奏の活動にも力を入れており、現在はカルテット・プラチナムのメンバーとして活躍。演奏活動の傍ら東京藝術大学、東京音楽大学、洗足学園音楽大学で後進の指導にも力を注ぎ、大阪芸術大学大学院客員教授も務める。



藤村 俊介 | チェロ | Shunsuke Fujimura, Violoncello

桐朋学園大学音楽学部卒業。チェロを安田謙一郎氏に師事。日本演奏連盟賞受賞。第21回東京国際室内楽コンクール入賞。第58回日本音楽コンクール・チェロ部門第2位。1989年NHK交響楽団に入団。1993年アフィニス文化財団の研修員としてドイツに留学し、メロ・カルテットのペーター・ブク氏に師事。

これまでに4枚のソロ・アルバム「バラ色の光り輝く雲が、ゆつたりと流れ」、「カサド・無伴奏チェロ組曲」、「ダンツァ・エスパニョーラ」、「ハバナ」及び、N響ヴァイオリン奏者大宮臨太郎とのデュオ・アルバム「パッサカリア」、師匠の安田謙一郎との2枚のアルバム「デュオ・チェロ」、「レゾナンス」をリリースしているほか、チェロ四重奏のラ・カルティエーナとして、10枚のアルバムをリリースしている。

現在、NHK交響楽団チェロ奏者、ラ・カルティエーナのメンバーを務める他、フェリス女学院大学講師、桐朋学園大学非常勤講師、洗足学園音楽大学客員教授として後進の指導に当たるなど、ソロ、室内楽、オーケストラと多彩に活躍している。

榎 HAKUJU HALL

ハクジュホール

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-37-5

株式会社白寿生科学研究所本社ビル 7F Tel.03-5478-8867

●代々木公園駅(千代田線)出口1より徒歩5分、代々木八幡駅(小田急線)南口より徒歩5分

●<https://www.hakujuhall.jp/access/index.html>

